

## お茶会【ぞう組】

H27. 6. 18(水)

毎月行われている年長児(ぞう組)のお茶会。お茶の先生は支援センターわいわいの、市川みずか先生です。

5月に行ったお茶工場見学からスタートし、手もみのお茶から煎茶、お抹茶と年間を通して学んでいきます。年度の最後には、年中児(きりん組)や先生たちを招いて、自分で点てたお茶を振る舞います。

また、お茶会の前には、当番が花を生けたり、粘土や折り紙などで季節のものを制作、また筆を使って月のテーマを書いたりします。それを、「床」の飾り、順番に観賞します。

お茶会を通して、「静」を学ぶと共に、感受性の豊かさを学ぶ良い機会になればと、富士わかば保育園では長年にわたり年長児のお茶会を行っています。



6月のあじさいを入れ、  
他は自分で花を選びました。



見本を見ながら上手に筆で  
月のテーマを書きました。



粘土でカタツムリを作りました。



「床」を観賞。  
「あじさい、きれいだね。」



みずか先生からお茶の話を聞きました。



今月は、煎茶をいただきました。